

事務事業名		葛生伝承館運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					事業区分	担当組織	担当部	教育総務部	担当課	葛生伝承館	
	政策	2 生涯にわたり学びのあるまちづくり						担当係			担当課長名	金原隆徳	
	施策	2 歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	1 地域の歴史・文化の理解の促進						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	14840	一般	10	4	4	葛生伝承館運営事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	16年度～ 年度			根拠法令 条例等	博物館法、佐野市博物館 条例						
							市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
							任意的事業・義務的事業	任意的事業					
							実施方法	直営					
							事業分類	その他内部事務事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
葛生伝承館を運営していくための事業で、収集資料の修繕や、受付業務の委託、資料提供などへの謝礼、調査などにかかる旅費、事務用経費、備品の購入にかかる経費など年間を通じたもの。			<ul style="list-style-type: none"> ・臨時嘱託職員による事務補助、施設管理補助。 ・収蔵資料の修繕業務、受付業務委託、事務用消耗品の購入。 ・パソコン、複写機借上げ、各種事務用消耗品購入。 							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			入館者数	人	7,172	7,800	7,900	8,000	8,100	
			業務委託件数	件	2	2	2	2	2	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民及び市外からの入館者 展示資料			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市民の人口	人	123,182	122,582				
			展示資料数	点	229	178				
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
入館者に利用しやすい施設を整える。展示資料を見学することにより地域の伝統・文化を知ってもらう。			入館者数/市民の人口	%	5.8	6.4				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合	%	91.6	93.1	93.0	93.5	94.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円											
	県支出金	千円											
	地方債	千円											
	その他	千円	9	8									
	一般財源	千円	5,290	5,831	5,836								
	事業費計(A)	千円	5,299	5,839	5,836	0	0						
	事業費の内訳	千円	臨時嘱託員経費	2,024	臨時嘱託員経費	2,106	臨時嘱託員経費	2,111					
			報償費	2	報償費	9	報償費	9					
			旅費	0	旅費	10	旅費	10					
			需用費	489	需用費	806	需用費	806					
通信運搬費			113	通信運搬費	122	通信運搬費	125						
受付業務委託料			2,450	受付業務委託料	2,520	受付業務委託料	2,520						
事務機借上料			221	事務機借上料等	239	事務機借上料	204						
備品購入費			0	備品購入費	27	備品購入費	51						
人件費	人	1	1	1	1	1							
のべ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200							
人件費計(B)	千円	4,669	4,669	4,669	4,669	4,669							
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,968	10,508	10,505	4,669	4,669							

事務事業名	葛生伝承館運営事業	担当部	教育総務部	担当課	葛生伝承館	担当係	
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成16年12月5日に、吉澤記念美術館別館「葛生伝承館」として牧歌舞伎、吉澤人形首を中心に地域の文化・芸能を紹介する施設として開館。平成17年2月28日、合併により佐野市郷土博物館別館「佐野市葛生伝承館」となる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成16年度から学芸員を配置、平成17年度博物館登録をし、博物館としての機能が整備された。バリアフリーの建築が利用しやすいのか、このところ、老人福祉施設からの入館者が増えている。収蔵庫が狭く寄贈、寄託の受け入れが困難。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	案内が親切、見近にこのような施設が有り、良い、等々。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	ホームページ等により、施設の更なるPRを行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市民に伝統・文化を知ってもらうことは郷土への愛着を育むことにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	郷土の伝統・文化に関する資料を収集、保護、研究することは、市が行う事業と考える。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	実態に即しており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	創意工夫した周知方法の研究
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	職員1名で運営しており、削減の余地は無い。事業費においても同様である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	博物館法では、公立博物館は入館料、その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならないと規定されており、例えわずかな入館料を徴収しても、それにかかる経費の方が大きく入館者も減少する可能性があるため、このままで適正と考える。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	本事業は休止も終了もできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			